

学習内容と到達目標

☞ 自分の典型的な一日の行動（朝起きてから夜寝るまでの行動）について話せるようになる。

指導のポイント

1. INTRODUCTION 第4課の復習。ステップ1での学習内容が定着しているか十分に確認した上で先に進む。①で「どのくらいの頻度ですか」をうまく説明できなかつたり、②で質問にすぐに答えられなかった時は、第4課の入念な復習が必要。

2. SPEAKING 絵を見ながら、山川さんの一日について説明。未習の語彙（「起きる」「寝る」など）や文法（時間を表す助詞「ニ」）が多く含まれているので、予習していない学習者は「なな、おはようございます」「じゅうに、おやすみなさい」のように表現するかもしれないが、一向にかまわない。

3. LISTENING ①では話の内容に注意を向けさせ、イラストの中の間違いを指摘させる（ほとんどのイラストに間違いがある。特に時間・曜日）。

4. FOCUS ①で時間の言い方を練習。「しちじ・ななふん」「くじ・きゅうふん」のように正しく言えるに越したことはないが、あまり神経質にならないように。小学校で九九を覚えた時のように、コツコツ繰り返し練習すればよい。また、数字や時間の聴き取りは意外と難しいので、④ではCDを聞く前にa～dの選択肢を口頭で読み上げ、時間の言い方を確認しておくといよい。⑦も一部分かりにくいイラストがあるので、それぞれのイラストが何を意味しているのかを確認してからCDを聞くようにする。

5. PAIR WORK ①の指示文には「Ask and answer questions ...」と書いてあるが、実際の活動は相手の発話を聞いて、それをメモする形で行われる。③も同様。ただし、一日の最初と最後（つまり、「起きる」と「寝る」）はみな同じなので、これについては「何時に起きますか」「何時に寝ますか」と聞かせてもよい。

活動例

① 私の週末

☞ この課の話題である「典型的な一日」については [5. PAIR WORK] でも [6. WRITING] でも表現しているので、これ以外に特にする活動はない。するとすれば、「週末の過ごし方」。朝起きてから（例えば）2時間おきに自分の行動をデジカメか携帯で写真に収めさせ（ブログにアップする写真を撮る要領で）、週明け最初の授業で報告させる。日本語学校や大学で留学生の生活指導を担当している場合には、普段見られない学生たちの週末の様子を把握する方法としても利用できる。